



バリアフリーな駐車場とは

リモコン式身障者駐車場
管理システムを開発

大山さんが講演

車いすを楽しむ会総会

車いすを楽しむ会
(鈴木より子会長)は
16日、豊橋市障害者
リモコンを手に講演
する大山潤一郎代表
(あいトピアで)

福祉会館さくらピア
(豊橋市東新町)で定
時総会および講演会
を開いた。
現在、同会は車い
す利用者を含む障
がい者18人と、健常者

27人の45人で構成さ
れており、駐車場管
理システム導入時の
助言や車いすトイレ
についての取り組み
などを行っている。
18人(委任状19人)
が参加した総会では
平成24年度の事業・
決算報告と、平成25
年度の事業・予算案
が示された。続いて
会務・理事の青木良
浩さんが、今夏公開
予定の同会ホームペ
ージについて、制作
の進行状況などの説
明をし、その他の会
員からも機関紙への

記事投稿依頼、外国
人障がい者との関わ
りについての検討要
求などが出され、全
ての議案について承
認した。
後半は、同会の助
言で2月中旬アピタ
向山店に設置され
た、リモコン式身障
者駐車場管理システ
ム「ユー・プラッ
ツ」の生みの親、テ
ィー・イー・システ
ムズ(名古屋千種
区)の大山潤一郎代
表が「考えよう!バ
リアフリーな駐車場
のあり方」をテーマ
に講演した。
従来の身障者用駐
車場は、健常者によ
る迷惑駐車が多く、
いざ車いすの人など
が使う際、空いてい

ないという事態がよ
く見られた。心を痛
めていた大山代表が
開発したのが「ユ
ー・プラッツ」。事
前登録をした障がい
者だけが高性能のリ
モコンを使い、エリ
ア内にあるバーを下
げて駐車することが
できる。同店では、
用意した120個の
リモコンのうちすで
に107個を必要と
する利用者に渡して
いる。「まだまだ改
良中」と話す大山代
表。「夢は、このノウ
ハウの詰まったリモ
コンが、いろいろな
シチュエーションで
使えるようになるこ
と」と意気込みを見
せた。
(森美香)